



SDGsとは、(Sustainable Development Goals)の略で、『持続可能な開発目標』のことです。国際社会が2030年までに持続可能な社会の実現を目指すための具体的な目標で、2015年に開催された国連サミットで採択されました。途上国における貧困や飢餓などの課題だけでなく、人権やジェンダー、技術革新などの先進国にもおける課題や、気候変動などの地球全体の課題の解決を目指すものであり、世界中の『誰一人として取り残さない』ことを誓っています。内容として、「17のグローバル目標」と「169のターゲット（達成基準）」が掲げられています。国連は、この目標の達成を、各国政府や企業、市民社会に対して、全世界的な行動を要請しています。特に企業に対しては、課題解決を担う主体として大きな期待が寄せられています。

地球温暖化や、プラスチック削減などSDGsに関する取り組みでやらなければならない問題はたくさんあります。だからこそ、企業や個人間での取り組みが重要になってきます。

買い物に行く際はエコバックを持って行き、レジ袋を貰わない事や、プラスチックではなく、紙のストローを選ぶなど、個人が少し意識するだけでSDGsに参加する事ができます。

1個人での取り組みは微力かもしれませんが、団体となった時に大きな変化に繋がるはずで。私たち自身だけでなく、子供やその先の世代のために、今日から少しずつ活動してみませんか？

SDGs に対する藤巧芸の取り組み

1, アクリルの取り扱いについて



- ・規定サイズに加え、1mm単位でのセミオーダーを行なっている為、お客様の欲しいサイズで無駄なく製作する事ができ、ロスを最小限にする事ができます。



- ・アクリル板をレーザー加工する際に発生するガスや、細かな塵は、専用の集塵機を使用する事で、外に漏らさないようにしております。

- ・アクリルの廃棄物は、小さくカットした上で破棄する事で、粉碎・リサイクルしやすいようにし、リサイクル率95%以上を目標としている専門業者に委託しております。

2, 再生プラスチック製品の開発



- ・プラスチック循環社会の実現をめざし、取り組みの一環として再生アクリル板リアライト RE を使用した商品開発をめざします。



- ・リアライト RE はエコマークを取得した唯一の国内生産のアクリル板です。

- ・再生アクリルを使用することで、一般のアクリル板と比べ、作成時・最終処理時共に発生する二酸化炭素の発生を抑えることができます。

3, ビニール使用量の削減

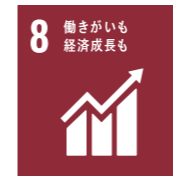


- ・従来の梱包では、緩衝材に気泡緩衝材（エアークャップ）を使用しておりましたが、再生紙を積極的に使用することで、ビニール使用率を抑えております。

4, 働きやすさ・働きがい



- ・勤務形態にフレックスタイム制を採用する事で、急な体調不良や時短勤務など多様な働き方に対応しております。



- ・自社、オンラインショップに寄せられたコメントや、評価を社内全体に共有する事で、社員の働きがいや成長へと繋げております。

- ・YouTube(株式会社 藤巧芸), Twitter(@fplustres), Instagram(@f_plus_tres) 等、SNSを活用する事で、更なる企業周知、成長に努めてまいります。